

坂戸市立片柳小学校 学校だより

やなぎの子

学校教育目標

よく考え

令和7年度12月号（令和7年11月27日発行）

児童数：328名

Tel 283-4735 Fax 289-1015

心豊かに たくましく

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

《《優しい心と思いやりをもつ人に》》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに

10月23日、坂戸市人権擁護委員の方がパンジーの苗を届けに来てくれました。花の苗は、1・2年生が自分の鉢に、美化委員の子供たちが校地内の花壇に植えました。

さて、なぜ、人権擁護委員の方が学校に花を届けに来られたのか。理由があります。学校ではこのような花を「人権の花」と呼んでいます。学校によっては、「人権の花」という看板が立っています。その看板には、「そだてよう やさしい心と思いやり」と記されています。



「人権の花」のスローガン「そだてよう やさしい心と思いやり」について、気にすることは多くはないかもしれません、そこには、人間として大事な意味が込められていると私は考えます。

植物は、植物自身が望んでいることを直接、人間に伝えることはありません。「水が欲しい」「太陽の光を浴びたい」「栄養が欲しい」「いつもありがとう」「今日はいい天気だね」と、言葉で伝えることはありません。

しかし、食物を育てている方は、言葉などは必要なく、毎日関わることで、植物が伝えたいことが分かっていると思います。小さな変化に気付けるようになってきます。水をもっと上げるのか、水は少し控えるのか、追肥するのか、鉢を日陰に移すのか、分かってくるようになります。

例えば、毎日顔を合わせている家族、職場の人、友達だと、顔を見ただけで、その人の気分がなんとななく分かるものです。何か良いことがあったのかな？それとも、何か嫌なことがあったのかな？なんとなく分かるものです。その人の気分や気持ちがわかれれば、どんな言葉を掛けたらよいのか、分かるものです。場合によっては、あえて、そつとしておくこともあります。

同じようなこと、顔見知りの方などに対しても家族や友人のように関わられるようになれるといいと思います。特に近所の方で挨拶を交わす間柄であれば、できるようになった方が良いと思います。

相手の方が、「今、何を考えているのか？」「何かしてほしいことはあるのか？」「どんなふうに言葉を掛けたらよいのか？」考えて行動できると良いと思います。

学校、家族、地域でそのようなことができたらば、この片柳の地が更にやさしい心と思いやりを持った人が集う素晴らしい地域になると思います。



«想いを歌や演奏で！»

◎ よく考え

◎ 心豊かに

11月5日(水)、坂戸市文化会館ふれあ大ホールにて、市内音楽会が開催されました。坂戸市では、小学生は4年生が出場します。



残念ながら、当日は、インフルエンザにより学年閉鎖のため、参加できなかつた学校もありました。

片柳小学校の4年生は、前の週、感染予防のため4年生だけが体育館で演奏・合唱を行い、それを校内にライブ配信しました。

当日、学校から徒歩で坂戸市文化会館ふれあまで徒歩移動。出場12校中1番乗りで会場に到着。

開会行事の後、四番目の発表。演目は以下の通り。

合奏 クラッピング・ファンタジー第10番 「ゆかいなダンス」

作曲 長谷部 正俊

合唱 「地球賛歌 ～笑顔の為に～」

作詞/作曲 ミマス、編曲 宮澤 裕



入場。やはり、ホールの大きなステージ。緊張するのは当たり前。指揮者の井上先生、子供たちの緊張をほぐそうとジェスチャーを送る。

1曲目。クラッピング、つまり、手拍子が主役。少数のリコーダー、鍵盤ハーモニカ、打楽器をバックにクラッピングの一体感、切れが見せ場。

2曲目。合唱。

10月上旬にはある程度完成していたが、何かが足りなかつた。そこで、本校第10代 宇佐美 美巳子校長先生に指導を依頼。さすが、元中学校音楽の専門家。わずか45分の指導で歌声に躍動感が備わりました。「地球賛歌」に込められたメッセージが聴き手に伝わるようになりました。

1曲目の「ゆかいなダンス」で緊張がほぐれたのか、歌いだしからしっかりと響く歌声。曲全体を通して起伏もしっかりと表現。ここまでで最高の拍手。

市内音楽会では、各校の順位等は付けません。閉会式後、指導者の先生からの講評を伝えます。

「合奏。拍がしっかりとそろっていて、素晴らしい。」

合唱。歌のメッセージが伝わってくる歌声でした。今の地声と裏声が混ざっている状態から裏声で歌えるようにしていくとさらに良くなります。」

とても素晴らしい4年生の活躍でした。

この日のために子供たちの健康管理にご協力いただいた保護者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

今後も歌声があふれる片柳小学校を教職員一同、目指してまいります。